

## 資産運用に役立つ 日経紙面!

NISA(少額投資非課税制度)が今年1月からスタート、貯蓄から投資への流れが加速しています。投資は全くの初心者というあなたも、専門記者の分析・解説による記事を参考に、まずは投資について知ることから始めてみませんか?

### 日経なら資産運用や投資情報が満載

『投資情報』面	火曜日～土曜日
『マーケット総合』面	火曜日～土曜日
『証券』面	火曜日～土曜日
『M&I(マネー&インベस्टメント)』面	水曜日、土曜日

今年1月に始まったNISA専用口座を通じた総投資額は1兆円を超えました。資産運用というと多額な資金が必要だと思われがちですが、資産運用のハードルは意外と高くはありません。あなたのお小遣い程度の金額でも始められる資産運用方法があります。

初心者向けの少額投資としては、「投信積み立て」「株式累積投資(るいとう)」「株式ミニ投資(ミニ株)」「単元未満株取引」の4種類があります。それぞれの特徴をよく理解して、資産運用を始めましょう。ただし、通常の株式取引と比べて手数料が割高になりがちに注意が必要ですし、元本が保証されるものではありません。元本割れが心配な方には、「個人向け国債」という選択肢もあります。

## 小遣いで運用始める

資産運用と聞いて多額の資金が必要と考えたが、少ない元金でも始める方法がある。株式や投資信託を毎月一定額ずつ購入したり、通常のより少ない株で取り入れる「ミニ株」や「単元未満株」など、少額投資の方法や注意点についてまとめた。

### A 少額からできる投資の主な方法

名称	内容	配当・配金	株主優待	議決権
投信積み立て	定期的に一定額の投信を買う。ネット専用証券では月500円からできる例も	あり	なし	なし
株式累積投資(るいとう)	個別銘柄を毎月一定額ずつ購入する。最低投資金額以下でも購入可能	あり※1	なし※2	なし
株式ミニ投資(ミニ株)	個別銘柄を単元株の10分の1単位で売買できる	あり	なし※2	なし
単元未満株取引	個別銘柄を1株から売買できる	あり	受け取れる場合がある	なし
通常の株取引	単元株ごとに売買する	あり	あり	あり

※1証券会社が自動的に積立資金に充てる場合も  
※2お金に換えられる品物は換金し、分けたりする場合も

### B ドルコスト平均法と定額購入法の比較

基準価格がグラフのように推移した投信を毎月買ったとすると...

購入方法	1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	合計	平均
ドルコスト平均法	購入回数 10口 費用 1万円	6.7口 1万円	20口 1万円	10口 1万円	46.7口 4万円	11.675口/月 856.5円/口
定額購入法	購入回数 10口 費用 1万円	10口 1万5000円	10口 5000円	10口 1万円	40口 4万円	10口/月 1000円/口

## 投信積み立て、月500円から

**個人向け国債**  
元本割れなく

個人向け国債は、「新設国債」と「個人向け国債」の2種類がある。このうち、個人向け国債は、新設国債よりも低い利率で発行される。また、個人向け国債は1万円から購入できる。発行時に設定された利率が変わらない3年物と5年物に加え、半年ごとに適用する利率が変わる10年物の3種類がある。

**個人向け国債**  
元本割れなく

個人向け国債は、中途換金時に国が額面金額での買い取りを保証しているため、元本割れない点も特長だ。安全性が高いことから、「将来の住みか購入資金」や「10年後の子供の進学資金」などに使いたいという方にも、元本割れさせたくない資金の運用手段に向いている。(FPの馬場氏)

**個人向け国債**  
元本割れなく

個人向け国債は、中途換金時に国が額面金額での買い取りを保証しているため、元本割れない点も特長だ。安全性が高いことから、「将来の住みか購入資金」や「10年後の子供の進学資金」などに使いたいという方にも、元本割れさせたくない資金の運用手段に向いている。(FPの馬場氏)

**個人向け国債**  
元本割れなく

個人向け国債は、中途換金時に国が額面金額での買い取りを保証しているため、元本割れない点も特長だ。安全性が高いことから、「将来の住みか購入資金」や「10年後の子供の進学資金」などに使いたいという方にも、元本割れさせたくない資金の運用手段に向いている。(FPの馬場氏)

**個人向け国債**  
元本割れなく

個人向け国債は、中途換金時に国が額面金額での買い取りを保証しているため、元本割れない点も特長だ。安全性が高いことから、「将来の住みか購入資金」や「10年後の子供の進学資金」などに使いたいという方にも、元本割れさせたくない資金の運用手段に向いている。(FPの馬場氏)

**個人向け国債**  
元本割れなく

個人向け国債は、中途換金時に国が額面金額での買い取りを保証しているため、元本割れない点も特長だ。安全性が高いことから、「将来の住みか購入資金」や「10年後の子供の進学資金」などに使いたいという方にも、元本割れさせたくない資金の運用手段に向いている。(FPの馬場氏)

## 日経の読み方 紙上講座

## 第5回 新聞は「見出し」を読む

これまでの講座で、経済ニュースは「連続ドラマ」のようにつながっていくと説明しました。では、このニュースのつながりを読み解くためには、記事を全て読まないといけませんか?

### 思いだそう! 「逆三角形の法則」

第1回の講座で解説しましたように、ニュース記事は「逆三角形の法則」に従って書かれています。つまり、見出しと前文(または記事の1段落目)を読むと、ニュース記事に書かれた「事実」「背景(なぜ、そうだったか?)」「今後」がわかります。実際に新聞の見出しと前文を読んで確かめてみてください。「もっと詳しく知りたい」と思えば、さらに記事を読み進めていけばいいのです。見出しと前文でその記事の7割程度の内容を理解できると思います。また、見出しを読むだけでも、記事の概略はつかむことができます。

### 新聞を全て読むのは無理!

日経には朝夕刊を合わせると約300本の記事が毎日掲載されています。これだけの分量がありますから、忙しいビジネスパーソンはもちろん、誰でも毎日全ての記事を読むのは無理な話です。しかし、記事が300本あるということは、300本の見出しがあるということです。効率よく新聞を読んでほしいからこそ、「逆三角形の法則」なのです。記事を全て読もうとするのではなく、まず、見出しをたくさん読むのが、新聞を読みこなす第一歩です。



続きは次号で!